

登小だより

卯月号



校長 文責 田崎正明

令和5年度スタート

よろしくお願ひいたします。

咲き誇る桜の季節が過ぎ、新緑の美を感じ頃となりました。二十六人の一年生の入学十一人の教職員の転入により、児童百七十八人・教職員二十七人で令和5年度のスタートを切りました。総勢二百五人、一致団結して活力ある学校づくりに努力いたします。

私たち登立小の教職員には、目指す本校の四つの姿があります。①子供たちが喜んで登校し、学ぶ楽しさが実感できる学校（喜と楽）②子供たちの学び合い、教え合い、助け合いがある学校（合と愛）③落ち着いた生活・学習環境が整備され、安心・安全が保たれた学校（整と安）④子供たちに親しまれ、保護者の方々や地域の方々から信頼される学校（親と信）です。「喜びと楽しさ、そして、愛（合い）にあふれ、整った環境による生まれる安心安全。そんな学校だからこそ、保護者の方々・地域の方々からの親しみと信頼がある。それが登立小学校である」と誇りを持ち、すべての子供たちの成長、幸福の実現に向けて、誠心誠意、教育指導を展開してまいります。その中で、一人一人が光り輝き、ときには、きついても、ぐっと歯をくいしばり、たくましく努力を重ねる強さをもったのびっ子の育成を進めて参ります。皆様方の深いご理解、ご支援、ご協力あつての登立小の教育活動です。多々ご無理申し上げることがあるかと思ひますが、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

◇教育目標
心と頭と体をつかい・のばす子供の育成
笑顔・元氣・命輝くのびっ子へ

◇教育・学習活動スローガン
すすんで、自分で、自分たちで

入学式へのびっ子の仲間入り

四月十一日、二六人（男子一五人・女子一人）の子供たちが入学しました。

全員、元氣に、そして笑顔で式に参加しました。式には、五年生と六年生が臨席し、一年生を迎えました。とても立派な態度で、先輩としての自覚の表れを感じました。式辞では、三つの木「えがおの木」「げんきの木」「いのちの木」が開校以来、登立小を見つめていること、そして、三つの木に、大きく、美しい三つの花「笑顔の花」「元氣の花」「命の花」を咲かせてほしいと伝えました。そんな一年生も入学から二週間が経ち、日々成長しています。楽しく学校生活を送り、給食もモリモリ食べています。皆様、黄色い帽子の子供たちを見かけられたら、安全な登下校へのご支援とともに、頑張りや成長を認める働きかけをよろしくお願ひ致します。

返事も、あいさつも、上手にできました。元氣いっぱい、のびっ子に臨席した全員が温かい心を送りました。

元氣に、そして逞しくとの願ひを込めた力強い応援エールを保護者の方々にいただきました。



歓迎遠足の予定でしたが、歓迎集会になりました

一四日（金）は、子供たちが楽しみにしていた歓迎遠足の予定日でした。しかし、当日は曇天で、今にも雨降りという状況でした。そこで天候を考慮し、遠足の実施を取りやめ、校内での集会を行いました。始業前に教室をのぞくと、誰もいませんでした。不思議に思い、あたりを見渡すと、子供たち全員、運動場で楽しそうに活動していました。遠足気分も高まり、一段といい笑顔で仲間と過ごしていた子供たちでした。歓迎集会の前には、六年生が一年生との交流を計画し、アイスブレイキングしてくれたおかげで、集会の雰囲気も、とても和らいだものになりました。やさしいお兄さん、お姉さんとして、とても頼もしく感じました。歓迎集会では、のびっ子会のみなさんが、企画したゲームやクイズで、盛り上がり、気分も絶好調の子供たちでした。保護者の皆様、朝早くからのお弁当の準備、ありがとうございました。おかげで、楽しい一日を過ごせました。

優しく関わる六年生の姿がとも頼もしく感じられました。目標を合わせることで得られる心のつながりがあります。



集会では、いつもと違った人と接したのびっ子たちで、コロナ禍の閉塞感が少しなくなってきた感じが、うれしくなりました。



転入職員紹介

昨年度末一人の教職員の転出がありました。コロナ禍にあり、転出のご挨拶も十分でなかったこと、転出者に代わりお詫び申し上げます。さて、本年度は二人の教職員の転入・復職がありました。転入者一同、真心を込めて、一杯、子供たちの教育にあたる所存です。皆様方には、留任者と併せて、ご支援いただきますよう、心よりお願ひ申し上げます。

（転入職員）

- ◇校長 田崎正明（牛深東小より）
- ◇教頭 山下るみ（佐伊津小より）
- ◇教諭 乗富浩文（再任用）
- ◇教諭 五島秀樹（教良木小）
- ◇教諭 大迫愛恵（育児休業復帰）
- ◇教諭 田平亮太（新規採用）
- ◇講師 竹内礼子（本渡東小より）
- ◇事務職員 岩崎礼子（龍ヶ岳小より）
- ◇給食技師 岩本浩美（維和小より）
- ◇学習支援 増田令子（松島中より）
- ◇特支補助 松本あゆみ（上小より）
- ◇調理員 小嶋明子（大矢野中より）



目指すのびっ子の姿～雨ニモマケズ（のびっ子編）～

健康・体力	生活態度	学習態度	道徳的態度	自己有用感	目標の堅持
雨にも負けず 風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けぬ 丈夫な体を持ち 欲張らず 友達と仲良くし いつも笑顔でいる 好き嫌いをせず 何でも おいしい、おいしいと食へ 本物の自分を目指し よく学び 先生や友達の意見を聞き わかりやすく忘れず 明るくにぎやかに きれいな教室にいて 東に病気の友達あれば 行って やさしく接してやり 西に困っている友達あれば 行って 一緒に手伝い 南に辛そうな友達あれば 行って 心配しなくてもいい 私が ついていって励まし 北にけんかやいじめがあれば 行って つまらないうちから やめるとい 命を感じる豊かな心を持ち 動物や草花を愛し 物を大切にできる みんなから本当の友と呼ばれ 仲良く一日を過ごす そういうひとに わたしはなりた					

この詩は、童話作家 宮沢賢治の「雨ニモマケズ」をベースにし、本校が目指す子供たちの姿を表現しています。この詩をもとに子供たちの学校生活への態度の育成を図ります。「態度」とは、「身構え」です。いつでも実践できるための内なる力です。心構えとともに重要なものであり、実践へのモチベーションでもあります。この詩は行動の具体を示しています。身構えをつくる指標として子供たちに示し、自主的・自律的な姿の具現化を実現していきたいと考えます。皆様方のご理解・ご支援をお願ひいたします。